

追分高校エピソード

令和5年 9月20日
北海道追分高等学校
第6号

赤い羽根共同募金 PR 活動

夏季休業期間中の8月5日（土）、安平町社会福祉協議会の皆様にご案内いただき、道の駅あびら D51 ステーションで行われた赤い羽根共同募金 PR 活動に、ボランティア同好会6名が参加しました。主に、街頭募金の呼びかけとチャリティーイベントとして行われた射的コーナーの補助を行いました。参加した生徒は、小さな子どもや地域の方々との関わりを持つことができよかったと振り返っていました。



夏季休業明け全校集会

8月18日（金）久しぶりに生徒が登校し、夏季休業明け全校集会を行いました。石若校長先生から、SNS などを通しての人とのかかわり方や人との接し方について話がありました。また、3年生の進路活動に対して激励の言葉をかけていました。その後、安平町が実施する「令和5年 広島平和式典派遣事業」に、本校代表として参加した1年A組の山崎さんによる報告会が実施されました。自身も長崎で生活していた経験があるという山崎さんは、被爆以前の活気にあふれていた広島市の様子と、被爆直後の悲惨な風景、そして、青い空と緑に囲まれた現在の原爆ドームの姿を対比させながら、「今の平和なこの日本で、過去にこのような悲惨な出来事が起こったんだということを忘れてはいけない」と、語っていました。研修の成果は、町内の各公民館で実施されるパネル展でも展示されます。



林業体験ツアー1 学年

9月4日（月）1 学年の国語、公民、理科の教科横断学習として、防災教育等と現地視察研修を行う林業体験ツアーを行いました。胆振総合振興局協力のもと、地域の産業である林業の現場を見学し、職業観の育成を図る目的にバスツアーを行いました。生徒は普段何気なく目にする木や林についてより興味を持ち、エコや環境・防災など様々なことについてより理解を深めました。



避難訓練

9月6日（水）6校時の時間帯に避難訓練が行われました。胆振東部地震のあったこの日を本校の1 日防災学校の日を設定し、地震・火災の避難訓練を行いました。駐車場へ避難の後、コロナ禍で行われていなかった救助袋を使った脱出訓練を行いました。各クラスの2～3名の代表者が、3階の生物室から地上まで降りていきました。最後に校長先生からの講評で、避難に要する時間についてのことや、訓練して実際に経験がないととっさの行動に移すことが難しいことなどから学校で行う一つの訓練が社会に出てからも大事であることなどが話されました。



追高等学校説明会 9/28（木）

追高＝一人ひとりが主役の学校です

追分高校は、少人数だからこそ、強い絆で結ばれた仲間と出会い、誰もが主役になれる学校です。

追分高校の教職員は、生徒一人ひとりをかけがえのない存在として認め、3年間かけて、自律した18歳に育て上げます。

追高＝一人ひとりを伸ばせる学校です

追分高校ではみなさんからのご意見をお待ちしております

北海道追分高等学校

〒059-1911

勇払郡安平町追分本町7丁目8番地

TEL・FAX 0145-25-2555

Email: oiwake-z0@hokkaido-c.ed.jp

ホームページで「追高の今」をご覧ください
<http://www.oiwake.hokkaido-c.ed.jp/>

